

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

特大号

みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.5



みんなで作る未来型図書館ニュースレターも、発行からおかげさまで1周年を迎えました！これからも、市民の皆さんとの対話や活動の様子など、「未来型図書館」づくりの今をお届けしてまいります。

講演会

9月25日に「みんなの森ぎふメディアコスモス」総合プロデューサーの吉成 信夫氏を講師に第3回講演会を開催し60名が参加。吉成氏が掲げる「子ども声は未来の声」という理念のもと、本と人とを結びリーダーである「子ども司書の養成」や、中高生を中心とした世代の悩みに対して司書がウィットに富んだ文面で回答する公開文通「YA交流掲示版」など、大人になるまで主体的に図書館に通い続けられる取組みについて紹介いただきました。

また、施設名称にもなっている「みんな」の意味について、図書館は単に本を貸す・返すという場所ではなく、図書館を訪れる人との関わりの数や広がり・深さが大切であり、それが一番大きな社会的資産であること。そして、図書館をまちの中に拓いていくこと、図書館を広場のようにしていこうという思いで取り組まれてきたことについてもお話しいただき、メディアコスモスがそこで働く司書や訪れる市民、まちと共に進化し続けていることを語っていただきました。



吉成 信夫 さん

目指せ！読書リーダー！

子ども司書養成講座

9月より、子ども司書養成講座がスタート！第1回は、特別講義として吉成信夫さんに講師を務めていただきました。「本が大好き！」「将来、司書になりたい！」という熱い気持ちが溢れていました。これからの活躍が楽しみです！



図書館の企画・運営を支える！

図書館エディター養成講座

9月より、図書館エディター養成講座もスタートしました。講師は編集工学のスペシャリストの太田剛さんです！太田さんは、図書館と地域をおすぶ協議会チーフディレクターであり、第2回講演会の講師も務めていただきました。

太田さんの熱血講義に受講生のみなさんも真剣そのもの。編集トレーニングの課題も待っています。図書館エディターを目指して頑張ってください！



みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第5回目は西村 聡教授です！

小松市未来型図書館基本構想策定委員会 副座長

公立小松大学の西村聡です。日本文学・古典芸能を専門としています。

今年度から小松市未来型図書館基本構想策定委員会に参加して、様々な御意見を拝聴・拝見しています。折々にミライという声を聞き、未来という文字を見てみると、そういえば近年、私の書く論文のタイトルによく使う言葉であると思いがたります。物語の内容は語り手からすれば過去のことです。それが少年の日々であれば、少年はまだ語る言葉を持ち合わせていません。少年の思い出を語るのは、小説家となった未来の少年です。あるいは百歳の老女は若い頃の驕慢の報いに苦しんでいます。そのおかげで仏法への帰依を深めます。死は近いにしても明るい未来が待つと読んでみました。

未来型図書館の未来も、未来のことである以上、想像力を働かせて、言葉を獲得してゆく必要があります。それを多様な人々が集まって行い、開館以後の未来に継続したいと思えます。現状に課題があるとするれば、未来の自分がどう取り組むかという御提言をお待ちしています。



西村 聡 教授

好評につき第2弾！

図書館カフェ

6月に続き第2弾を9月に開催！

9月がアルツハイマー月間であることから、「認知症カフェ」として行い、認知症について理解を深めていただく機会となりました。



こまつ町家文庫さん

みんなで作る、みんなで作る未来型図書館へ

裏面もチェック！

2022.10.1 発行



地域ブランディング論

未来型図書館つながるミーティング

7月より、未来型図書館つながるミーティングがスタート！第1回では、「未来型図書館」ができることで、小松市というまちで、自分がどのようなことが出来るようになるか、小松市にどのような可能性があるかについて対話を通して考えました。図書館での過ごし方や、子育て、ビジネス、観光・文化など様々なテーマのもと、参加者同士で対話を通じて未来型図書館についての想いを共有しました。



9月に開催した第2回では、「未来型図書館」が小松市においてどのような役割・機能を果たしていくのかを、まち歩きを通して、地域資源を確認しながら考えました。また、第3回では、まち歩きから見てきたことを整理し、まちの地域資源と「未来型図書館」をつなげ、どのようなことが実現したらよいかをマップづくりを通して可視化させながら考えました。

定義も何もないところからスタートした、未来型図書館づくり。様々な世代や職種のみなさんが集うワークショップを通じて、みなさんの想いを言葉に表しながら、具体化させる作業に挑戦しています。

次回第4回は、12月に開催する予定です！みなさんのご参加をお待ちしています！



第1回目の様子



第2回目の様子



第3回目の様子

参加者の声

- ・@を重ねることに少しずつ見えてくるものが出てきた
- ・対話の中で新たな気づきやアイデアが浮かび、一人ではおぼけないものを得ることができた
- ・まち歩きをしてみて、身近な場所なのに知らないことが多く、新しい気づきがたくさんあった など

公立小松大学国際文化交流学部の「地域ブランディング論」において、未来型図書館を題材に7月から約1ヶ月間にわたり、調査研究を行っていただきました。7月28日には、学生36名が6グループに分かれ、未来型図書館の機能やサービス、過ごし方、施設のあり方について多様な提案をいただきました。



担当：朝倉由希 准教授



学生ならではの視点に加え、だれもが利用しやすく、科学技術と感性の両立などアイデアが溢れていました。学生のみなさんの発表のスライドについては、市HPからご覧いただけます。

第2回策定委員会

8月30日に、第2回小松市未来型図書館基本構想策定委員会を開催しました。第1回未来型図書館つながるミーティングを踏まえ、未来型図書館の基本コンセプト設定にあたっての機能のあり方について、議論を深めるとともに、今後のスケジュール等について確認を行いました。



第1回未来型図書館つながるミーティングに参加された委員の方からは、「読書だけでなく、人との出会いによって、新しいつながりが生まれることが大切な視点であると感じた」、「多種多様な意見や思いを全て実現することは難しいかもしれないが、まち歩きなどを通し、小松市だからできるという視点を大事にしていきたい。」というご意見をいただきました。今後は、未来型図書館のビジョン・コンセプトや機能・サービス、候補地の考え方等について、市民ワークショップと並行しながらさらに検討を進めていきます。



お知らせ

Instagram 市HP

未来型図書館に関する様々な情報や取組みの様子については、InstagramやHPをご覧ください！

みんなで作る、みんなでつなぐ未来型図書館へ

